

議会報告会結果報告

開催日時	平成 30 年 5 月 12 日（土）14 時～16 時			
開催場所	鎌倉武道館 第 1 会議室			
出席議員	班長	河村 琢磨		
	司会	久坂 くにえ		
	くりはら えりこ	竹田 ゆかり	山田 直人	志田 一宏
	長嶋 竜弘	武野 裕子	西岡 幸子	日向 慎吾
	河村 琢磨	池田 実	安立 奈穂	納所 輝次
	高橋 浩司	久坂 くにえ	中村 聡一郎	前川 綾子
	保坂 令子	吉岡 和江	大石 和久	
参加人数	13 名			
実施概要	・平成 30 年 2 月定例会の報告（各常任委員会、一般会計予算等審査特別委員会） ・意見聴取会（テーマ『市役所のあり方について』）			
内 容	【委員長報告への質疑】 Q1. 特別会計予算で大船駅東口市街地再開発事業 2,390 万円、公共用地先行取得事業 4 億 980 万円が計上されているが、何処をどの様にやられるのかお聞かせいただきたい。また鎌倉駅西口駅前時計台広場の再整備については、神奈川県と都市計画決定の協議まで行っているのか？ A1. [一般会計予算等審査特別委員長] まず、大船駅東口市街地再開発事業の予算については、第 2 地区の整備に向けて進めているところではあるが、実際には東日本大震災、あるいは 2020 東京オリンピックパラリンピックの開催に伴う資材費や人件費用の高騰により、当初の計画通りに進んでおらず経過を見ている状況である。 次に、鎌倉駅西口の都市計画決定は、都市計画変更する必要のない用地となる。現在の立地を活かした広場として進める。喫煙所がなくなる他、トイレの整備などのご意見はいただいている。また、一部隣接する店舗等の買収を行いトイレや観光案内施設などの検討も進めてきたが、中々買収が進んでいないこともあり、現状出来る範囲の中で進めているところ。今小路通りの歩道等も計画エリアに含んでおり、そちらの整備は完了している。今後、西口駅前広場については、東京オリンピックパラリンピックに向けて、人が集まれるような場所にしていける予定である。 最後に公共用地先行取得事業については、台峯緑地の買い増し予算となる。すでに指定されている場所について土地開発公社が先行取得をしている。その土地開発公社が取得した土地の買い取り予算計上となる。			

-----《その他、質疑中のご意見など》-----

[1] 今回の予算編成にあたり、生ごみ減容化施設設置の関連予算 7 千万円近い予算が削減された。これにはショックを受けている。新ごみ焼却施設建設に反対する住民の会として、鎌倉市とは交渉を重ねてきた。今年の 1 月末に環境部からは、生ごみ減容化および資源化の施設について概略説明は受けていた。テストケースとして日量 5t 程度規模の今泉クリーンセンター跡地への施設設置については、地元の方々からは概ね了解を取って進めていると聞いた。これに、松尾市長が一貫して進めようとしている 2 市 1 町の連携による広域化との組み合わせが進めば、山崎に新ごみ焼却施設は持つて来ないであろうという希望を持っていた。

その予算が、議会への説明不備等もあり削減となったことは非常に残念である。

説明不足や根回しの不足、また審議会に諮っていないなど、手続き的には拙速であったことは理解するが、ごみ処理問題は待ったなしである。松尾市長は問責も出されているが、これは市長だけの問題ではなくて鎌倉市全体の問題である。来年度の予算となれば、それだけ時間が過ぎてしまう。一近隣地区の住民としては、また最初から審議会を通すとかの余裕はない。ことを進めてもらいたい。議員の皆様にも住民の声を真摯に受け取ってほしい。

[2] 鎌倉市にとって今一番大事なことは、子どもから大人まで市民全員が関係するごみ処理のことだと思う。本庁舎の移転、新駅構想、子どもの問題、深沢商業施設の問題もある。しかし、市会議員にはどれか一本に絞ってやってもらいたい。

市長はこれまでも、野村研究所の跡地を遊ばせていたり、これから管理が大変になる緑地を買い進めたりしてきたが、どれも有効に使っていない。ふざけるなど言いたい。特に深沢にはあれだけの広大な土地がある。これまで山崎は迷惑施設である下水道終末処理場を負担してきた。深沢に住んでいる人達には申し訳ないが、鎌倉市内にあれだけの広さの土地は他にない。そこに本庁舎とごみ処理施設を一緒に作ってもらいたい。ここに作るのは絶対に反対だ！市も市議会も何を目指して進めていくのか？公正公平にやってもらいたい。6,900 万円の減容化施設の様なシステムで間に合うのなら、色々な広場で出来るはず。市議会議員の人たちよろしくお願いします。

【意見聴取会でのご意見】

《行政側に対するご意見》

市役所本庁舎の整備について

- ・ 広報を見ると本庁舎移転が決まったかの様に感じる。市役所移転は決定なのか？
- ・ 新ごみ処理焼却施設の問題を先にやった方が良い。
- ・ 市役所は鎌倉駅の近くにあった方が良くと思う。シンボリックな場所が良い。
- ・ なぜ深沢に決まったのか？昔からある所にあるべき。
- ・ 深沢は鉄道のアクセスが悪く、なぜバスで行くしかない深沢に作るのか。
- ・ 市役所へのアクセスがバスしかない市民に対し、以前にあった高齢者向けのバスの利用パスが欲しい。江ノ電バス、京急バス両方使えるものが欲しい。

- ・市役所が深沢になったら交通渋滞によって更にバスが着かないことになる。まずはアクセスの問題を解決しなければならない。現に武道館前に信号が設置されたことにより交通渋滞が発生している。
- ・今現在すでにあるが、深沢は支所的な機能があれば良いのではないか？
- ・現在の機能と人員数を鑑みれば、今の所が手狭なのは理解できる。
- ・安全性を確保して欲しい。防災避難所の役割も考慮して欲しい。
- ・コスト面での検証が必要なのではないか？
- ・大船駅東口再開発も昭和 45 年以来あまり進んでいない。コストが高騰している状況下において、果たして本庁舎の整備が進められるのか疑問である。
- ・市役所は建替えも移転もせずにそのままで良い。今ある予算は、全て廃棄物処理施策に費やすべき。現市長は、ごみ処理施策に集中して成果をあげるべきで、両方やろうとしても出来ない。
- ・180 億円というコスト試算についても、増えていく可能性があるのではないか？
- ・県の施設ではあるが、利便性を考えて保健所も新庁舎の中に入れられないか？
- ・一般市民向けの窓口業務はともかく、主に事業者が来庁利用している現庁舎 3 階と 4 階にある課については、現在地にある必要はない。
- ・本庁舎移転には色々な意見があるが、決まったら計画通りに進めて欲しい。中途半端はやめるべき。
- ・新ごみ処理焼却施設建設の判断を先送りしたが、3 月末の議会ではなく、その前に市長は市民一人ひとりに伝えるべきではないか？なぜやらないのか？
- ・4 月 2 日の記者会見のとき、記者からの問いに答えるだけでなく、なぜ市長は自ら発言しないのか？
- ・広報かまぐらの「移転します」は、あたかも決定したかのような誤解を招く。
- ・大船に高層ビルを建てて、豊島区のようにそこを本庁舎にすれば良い。

市職員について

- ・職員に「鎌倉を良くしたい」との意欲が感じられない。
- ・部長クラスは、ほぼ 2 年サイクルで配置転換され、深く業務を理解している責任者が少ない。専門性を磨くべきである。人事異動でプロフェッショナルが育たない。
- ・原課の作業が多すぎる。忙殺されている。
- ・地域共生社会の創出を考える市役所としては、地域課題などを課の垣根を超えて話し合う時間を作った方が良い。
- ・職員の顔が見える市役所であるべきで、誰が何をやっているのかわからない。
- ・組織編制と配置転換は、速やかに市民に分かるように公表すべき。
(係長クラスまで)
- ・職員を育成しようとしていない。
- ・「市民の方から言ってください」の姿勢（スタンス）では駄目。
- ・職員の倫理観がない。公僕意識なし。不祥事が多すぎる。

- ・市民に対してトップダウン。
- ・コミュニケーション能力が足りない。
- ・一方的な常識。市民の常識は非常識との認識。
- ・公文書管理が出来ていない。
- ・部署が信頼できない。
- ・職員の採用試験にも問題がある。もっと鎌倉市民を採用するか、採用後に鎌倉市に移住させるべき。
- ・鎌倉市民の若手を採用し、育てて欲しい。
- ・職員の研修制度をもっと厳しいものにすべき。
- ・市民の目線に立って欲しい。親と子のような立場ではなく、本当に困っている人達をどうしたら助けられるか？
- ・職員は失敗から学べ。上からの締め付けが厳しいのか？
- ・職員は、市長の思いをもっと感じて欲しい。
- ・地方公務員は縦割り。横断の仕組みが必要である。
- ・職員は責任を取らない。市長も責任を取らない。一体誰が責任を取るのか？
- ・「いつまで」という時間軸がない。聞かないとやらない。
- ・下の職員の意見が上にあがっていかない。
- ・市長はマネジメント能力がない。

市の計画および市民サービスについて

- ・機構改革は、街づくりの視点からも福祉・共創計画など横断的に取り組むべき。
- ・基本計画作りは基より、どう実践するのかといった実施計画が大切であるが、鎌倉市は具体策に欠ける。しっかりと実施計画を策定すべき。
- ・市民活動を支援する市役所になっていない。
- ・公益ボランティアの交流の場がない。市民と行政がもっと交流を図ることの出来る市役所にすべきである。
- ・とにかく情報公開して欲しい。
- ・資料コーナーのスペースを広げて欲しい。閲覧スペースが狭く、人通りが気になる。
- ・文化行政の充実をして欲しい。例えば「高田博厚」の眠っている作品が沢山ある。宝の持ち腐れである。クラウドファンディングなどを活用し、歴史文化交流館などへの展示工夫を。その他すでに市に保存されている文化財やご寄付頂いた美術品などを常設展示して欲しい。
- ・世界遺産を目指すのは良いが、もう登録は無理と考える。それより「やぐら」の調査をするべきである。やぐらは鎌倉市内の岩壁にある。民家の岩壁に掘られていることも多いはず。がけ崩れ等でやぐらの場所がわからなくなってしまうこともあるはず。民家に接している岩壁は、岩壁から民家を離して建てるべきであり、その条例を作って欲しい。がけ崩れが民家に影響を及ぼす度に、市がその撤去作業等を行わなくて済むようにするべきだ。こうした条例が出来れば、同時にやぐらを守ることに繋がるだろう。

- ・市民の意見が反映されていない。
- ・行政と市民に信頼関係がない。

ごみ処理施策について

- ・新ごみ処理焼却施設建設場所の選定は、124 ヶ所から 4 ヶ所に絞って決定されたが、すべて深沢地域である。鎌倉市内 5 つの地域に一か所ずつあったら良いと思う。鎌倉市にごみ処理焼却施設が無くて良い訳ではない。JR 跡地に焼却場を造り、市庁舎のエネルギーに使えば良い。
- ・新ごみ処理焼却施設の建設場所も新庁舎の設置と一緒に深沢で良い。
- ・山崎はすでに浄化センターの設置で土地の値段が下がった。
- ・ごみ問題については、何とかしなくてはならないはず。石渡市長時代から松尾市長になり、バイオ化の考えが無くなった。もっとコンパクトなものにすれば良い。もっと市議会もごみ処理施設について研究して欲しい。
- ・ごみ処理施設を山崎に置くという考え方には賛成であり、ごみ処理施策を広域で考えるなら、それも賛成である。問題は市議会にある。市議会が反対することによって前に進まない。行政よりも鎌倉市議会に問題があるし、責任を感じるべきである。行政が提案したものにある意味、勢いに乗って一緒に進めて欲しい。
- ・住民も我慢をしなければならない時代となる。どこまでを行政がやり、どこまで市民がやるか考えていかなければならない。

公共施設および公共用地について

- ・市は、パブコメを行っても出された意見をほとんど採用してきていない。過去に実施された「深沢地域のまちづくり」の修正土地利用計画案についてのパブコメは、989 件も出されたが、計画案に反映されなかった。公的不動産利用推進方針のパブコメも同じ。
- ・公的不動産の利活用については、初期投資に多額の経費がかかる。野村総研跡地、扇湖山荘など今まで放置していたのを、にわかに利活用すると言って上手くいくのか？負の遺産なのだから今、手をつけるべきではない。
- ・県営住宅跡地の活用は、保育所以外の地場産業的なもので賑わいの創設を。
- ・今の鎌倉市の体力で出来ることだけをやれば良い。インフラ整備などは、近隣自治体と広域で連携を図っていくべき。広域連携できる業務は広域の仕組みで行い、市役所をこれ以上大きくする必要はない。
- ・富士見町駅のバリアフリー化は良いが、自転車の駐輪場の整備を行って欲しい。
- ・市の施設と鎌倉市内にある県の施設などを一緒に出来たら、市民の利便性は上がるのではないかな？

《議会側に対するご意見》

議会への要望について

- ・市民が市政全般にわたって関心を持てるよう議会が図っていくべき。

- ・自由にディスカッションが出来るよう特定日を設けるなどし、議会開催期以外で市民との交流が図れるよう工夫すべき。
- ・議会だよりは、議員の専門性を明確に示し、何を質問しているのか市民に分かるようにすべき。その上で共感をもってディスカッションしたい。
- ・地方創生につながるように、市民も議員も一緒になって話し合う時間が欲しい。
- ・行政と議会の意思疎通が取れていない。

《今後の議会報告会について》

- ・市民もこうした報告会に参加して初めて知るのではなく、日頃から広報やチラシを読んで知識を得てから参加するべきだ。
- ・次回のテーマは「議会のあり方」が良い。
- ・意見聴取会をもっと開いて欲しい。

-----《その他、意見聴取会中での質問など》-----

Q1. 支所の機能がコンビニになるというのはどういうことか？婚姻届けなどの各種届出はどうなるのか？

A1. 婚姻届けなどの届け出は本庁舎である。マイナンバーカードをお持ちの方に限り、全国のコンビニエンスストアで住民票の写しや印鑑登録証明書を取得できるサービスを実施している。

Q2. 鎌倉市はコンパクト化を目指しているのか？嘱託職員が窓口に入っている。入金など銀行でやって欲しいとなってきたが、末端の行政サービスへの影響は今後出てくると思う。行政サービスがどこまで減らされるのか心配。職員は減らしていくのか？

A2. 20 年程前は 1,750 人居た職員が、今は 1,300 人である。第 4 次職員数適正化計画の下、AI などを利活用し 109 人の削減を行う予定。

Q3. 高齢化が進むと行政に対して積極的にアプローチしなくなる。サービスがあって当たり前の筈だが、行政センターの役割はどうなっていくのか？

A3. 限られた予算の中で提供するサービスを考えていくと同時に、地域の助け合い組織を作っていく必要がある。大船の連合町内会で組織を立ち上げ、ニーズに合わせ予算化した。その結果、災害避難所が出来た。

Q4. 市役所は移転しなければならないのか？費用が掛かる問題だ。待てという議論はないのか？行政計画は変えられるのか？

A4. 5 月 1 日号の「広報かまくら」を見た方々から数人、我々ところにも質問が来ている。皆、決まったものとして驚かれているが、目算 180 億円もの事業である。これまで行政計画が変わった例としては、8 年前の生ごみバイオマス計画が、市長が変わったことにより計画が変更された例がある。もう一つは、山崎の新ごみ処理焼却場計画のように住民の反対で行政計画通りに進まない例もある。

議会報告会結果報告

開催日時	平成 30 年 5 月 13 日（日）10 時～12 時			
開催場所	鎌倉市役所本庁舎 2 階 議会全員協議会室			
出席議員	班長	日向 慎吾		
	司会	前川 綾子		
	千 一	くりはら えりこ	山田 直人	長嶋 竜弘
	西岡 幸子	日向 慎吾	飯野 眞毅	森 功一
	安立 奈穂	高野 洋一	納所 輝次	永田 磨梨奈
	中村 聡一郎	前川 綾子	伊藤 倫邦	
参加人数	14 名			
実施概要	・平成 30 年 2 月定例会の報告（各常任委員会、一般会計予算等審査特別委員会） ・意見聴取会（テーマ『市役所のあり方について』）			
内 容	【委員長報告への質疑】 Q 1. 市役所本庁舎移転について、委員長報告では平成 39 年とおっしゃっていたが、広報には平成 37 年と載っていた。平成 37 年ではないのか？ A 1. ご指摘の通り。深沢に移転しようとしている市役所本庁舎については平成 37 年度。市役所跡地の整備オープンが平成 39 年度である。 Q 2. 地方自治法 74 条によって、直接請求して移転を問う住民投票を行いたいと思っている。市議会として受けていただきたいがどのように対応されるか？ A 2. 議会として市役所移転そのものを議決する直接的なものはない。予算等などをおおして、議会として影響力を発揮していくことになると思う。50 分の 1 の要件を持って提出する権利が市民にはあるので、仮にそういうことがあれば議会としてきちんとした対応をすることになると思う。 Q 3. トレイルランについて、土地所有者との問題のポイントはどこにあるのか？ A 3. ハイキングコースとして紹介されているが、確定をされていないままコースとして紹介をし続けてきたことが法的に問題なのではないかということが一つ。所有者が多くいらっしゃるため、お一人おひとり確認をとることの難しさがある。それと、過去に所有者とお話をしたときに「そんなこと言うなら使わせないよ」ということがあったそうで、今愛されているハイキングコースが使えなくなったら元も子もないため、なるべく適法に近い形をとるべきだと考えているようである。まずは安全性の確保するために広くマナー条例を作ろうという結論になっている。 Q 4. 長谷の子ども会館の利用が怪しくなっているが、どこで話し合っているのか？ A 4. 長谷の子ども会館に関しては、議会の方も報告を受けていなかった。今後きちんとその後の報告を明確にしていきたい。			

Q 5. 鎌倉駅西口駅前広場整備について、ウォーナー博士の像は今後どのようなになるのか。ぜひ残してほしい。

A 5. 建設常任委員会では報告を受けていない。どうするかを検討させていただければと思う。

Q 6. ごみは出たところで処理するのが当たり前。それを運賃や人件費かけて、焼却炉でやろうとしている。ごみの出たところの近くで処理をして5か所か6か所でやり、エネルギーをとる。そのエネルギーを使ってコミュニケーションの場を作ってはどうか。ごみは子供も大人も皆関わることで1か所に集中させるのはやめるべき。事業系ごみは事業者には責任を持たせるべきである。

A 6. ご意見として受けさせていただいた。

【意見聴取会での意見】

《市庁舎の移転について》

- ・今のところ移転の必要は感じていない
- ・現在地にある必要はないので移転してよい
- ・市役所移転について賛成であり前向きに進めていただきたい

市役所本庁舎について

- ・無駄をなくして欲しい
- ・鎌倉はブランド力があり、企業メリットがある。民間の力を使い、ドリームプランと現実をミックスするべき
- ・土日休みのサラリーマンにも利用しやすい市役所にして欲しい
- ・市役所新設にあたっては民間を活用すべき
- ・あまり大きなものを作ると、後世に困るのではないか
- ・AI やコンピュータを利用し、思い切ってコンパクトな市役所を
- ・これからの時代を背負っていくのは、若い人。若い人の意見を聞いて、作って欲しい
- ・外部の知恵も入れて欲しい
- ・稼げる市役所も、考えると良い
- ・鎌倉市のサービスを簡便にする
- ・間接インフラ、直接インフラを総合的に考えて欲しい
- ・市役所の利用は、ほぼ、住民票・戸籍謄本を取るとか、高齢者向けのサービスを受けたい時しか行かない
- ・市役所に憩いの場とか、全世代集まれる場所を作る事の効果は否定しない
- ・図書館が有ったら、行くかもしれない
- ・仮に本庁舎を建て替える場合、立派すぎる建物が必要かどうかは判断してほしい
- ・委員会の傍聴席が狭いので、建て替える際はスペースの確保やテーブルを置いてほしい
- ・食堂が欲しい
- ・同じ場所での建て替える場合に高さ制限があるのなら、特区を作るなどすればよい
- ・ICT などです手続きが簡略化される場合でも、お年寄りに優しい申請窓口が欲しい

- ・市民が利用する窓口とそれ以外（消防本部・議会など）を分けてはどうか
- ・市役所機能の改善。市民サービス拡大をお願いしたい

災害対策について

- ・津波などの被害のあわない安全なところにするべき
- ・移転にあたっては大災害が起きる前に早急に進めてほしい
- ・津波対策
- ・災害に強い事は大事
- ・老朽化と津波の問題
- ・深沢は津波は大丈夫なのか
- ・図書館などが残るとのことだが防災対策は大丈夫なのか

周知・広報について

- ・広報で市役所移転を知った。広報が十分でないと感じる
- ・金額の提示をして欲しい
- ・いきなり唐突に、移転の話になった様に思う
- ・経緯があるなら、途中も説明して欲しい
- ・説明責任が有るはず
- ・逃げないで、説明して欲しい
- ・皆で一緒に考えさせて欲しい
- ・市役所移転の動機を、きちんと示して欲しい
- ・腑に落ちる説明が欲しい
- ・目的は？何の為にやるのか。インセンティブ
- ・収拾がつかないのではいけない
- ・大きなビジョンを打ち出すべき
- ・移転の理由が知りたい
- ・市役所移転について地域によって温度差がある
- ・移転の話のうわさはあった。市長選でも聞いていた
- ・広報の1面で「移転する」と書いてあるので、決まったと受け止めてしまう
- ・行政が滞っていることが、移転によってどう解消されるのか示して欲しい
- ・移転に関する総合的なビジョンを示すべき
- ・移転後の旧市役所はどのように活用されるのか

交通の懸念

- ・公共交通の事も、考えて欲しい
- ・JRの新駅が有ると無いでは、大きく違う
- ・朝のラッシュ時、ただでさえ、モノレールの入場規制がされている中で、深沢に新市庁舎が出来て、交通をどうするのか
- ・2020年以降、モノレールが壊されるという話を聞いたので、交通手段が無くなる
- ・市民の動線を重要視して欲しい
- ・行きやすい場所にして欲しい
- ・慢性の渋滞をどうするのかも考えた計画に

- ・住んでいるところから遠くなって使いにくくなる
- ・新駅のセットなのか。セットでは難しいのではないかな
- ・通勤の問題がある

計画・今後の検討課題について

- ・現在ではアドバルーンをあげた段階、文化性・利便性なども考慮すべき
- ・グランドビジョンがないから10年かけてもまとまらないのではないかな
- ・市民が待ち焦がれるようなプランがあつての市役所移転ではないのか
- ・マスタープランの意見聴取のために、職員が庁舎から外に出て、地域を知り、直接、市民の声を聴くことが重要
- ・何であんな遠い所（深沢）に作るのか
- ・鎌倉市の財務状況に応じた計画にすべき
- ・都市計画上、どうなのか
- ・20年後、30年後を考えているのか、どうしたいのか
- ・財源はどうなっているのか。180億円の根拠は
- ・市役所の周りの飲食店への影響
- ・深沢に人が多くなれば、武蔵小杉のように住んでいる人も不便になるのでは
- ・深沢をショッピングモールやマンション群で若い人が住める街にするのは良いと思う
- ・箱ものを整備するだけで現状の解決はするのだろうか
- ・SDGs（持続可能な開発目標）→課をまたぐ仕事に対応する市役所のあり方を解決できるのか
- ・ソフト面の機能をどうするのか打ち立てる事が必要
- ・費用対効果を考えて欲しい
- ・パブリックコメントをしっかりと踏まえて欲しい

《市・職員》

- ・広報の有り方を考えて欲しい
- ・書類（しくみ）ばかり作って脳がない
- ・職員は市民や市に対する愛情がない
- ・鎌倉市職員に鎌倉市民が少ない
- ・職員が市長を支えていない
- ・北鎌倉隧道案件について情報公開を求めたが、黒塗りの資料が提出された。情報はオープンにすべきであり、信頼性の確立を議会に求める
- ・職員の電話対応の悪しき事例が複数課にわたりあげられた。職員間の連携にも問題ありとの指摘―職員教育セミナーを行い、対応力の向上を図るべき
- ・役人文化と称される許認可を与える受け身の業務から、自らが鎌倉をこうしようと外に向かってポジティブに業務に臨む意識改革が必要
- ・職員は、鎌倉市の現状に危機感を持ち、今、何をすべきか考え、行動するカルチャーに改革すべき
- ・たらい回しにしないで欲しい

- ・住民の安全を考えて欲しい
- ・時間軸を考えた計画にして欲しい
- ・住民とトラブルを起こさないで欲しい
- ・プレゼンが下手
- ・ワンワードでイメージを伝える事を
- ・ポピュリズムではなく
- ・「私の意見」の有り方も考えて欲しい
- ・いくら意見を言っても、提案した後、紙1枚の対応
- ・レスポンスが悪い
- ・市民相談課に出しても、3週間ルールが有るらしいが、酷い時は6～8週間かかる
- ・役所の職員に、もっと鎌倉愛が欲しい
- ・鎌倉出身の方や、鎌倉に住んでいる職員を増やして欲しい
- ・鎌倉に魅力がないから、職員が住んでくれないのでは
- ・役所にスピード感が欲しい
- ・地権者を大事にして欲しい
- ・市に寄贈されている絵を小学校に飾るなど、保存だけでなく観られる環境にすべき
- ・ゴミ問題にしても何にしても、地域問題に関わるので、行政には寄り添う態度を見せて欲しい

《議会》

- ・企画は作るが実行力がない（自治基本条例など）
- ・議員の質問に対して、前向きに検討といった答弁等には、次の議会までに報告を要求したほうが良い
- ・藤沢で新しく市庁舎ができたが、議会として最新の建物を視察に行っているのか
- ・職員の出勤の関係があるが、休日・夜間・出前議会をやってもらいたい

《今後の議会報告会について》

- ・報告会では市の担当部署から出席させたほうが良い
- ・今日の意見聴取会に来ている人の平均年齢が高い

《テーマ以外》

- ・ごみの施設は科学的に公害がないということを証明して住民の理解を得ればよい
- ・無駄遣いが多すぎる
- ・モノレールを活用し、収益を上げることでモノレールの維持にもつながる
- ・山崎へのゴミ施設建設も賛成
- ・市役所とゴミ施設は将来の人口減少を見据えてローコスト運営出来る計画を希望
- ・北鎌倉隧道案件においては安全策と言いつつ、3年間、子どもたちは縦割り行政の犠牲となり、危険にさらされながらの通学を余儀なくされている。早期解決を図るべき
- ・野村総研の橋の老朽化の件も有るが、市が所有する物の有効利用を考えて欲しい

	・昔は住みたいまち3位だったのに、今は15位になった。交通が不便になったから ・まちづくりビジョンを作る必要有り—高齢化・人口減少への対応 旧鎌倉地域…歴史・文化を守る。分譲地への人口導入をはかる。 大船地域…商業化を推進する。 深沢地域…プランニングが大事。 工業化（メディカルタウン）を推進。企業誘致を図り、人口・税収共に増加を目指す事とし、議会は、条例整備を行う。 今後の取り組みについて市民の意見はどこの窓口へ伝えればいいか。 どのような土地利用計画なのか。 隣接する市営住宅はどうなるのか。 CCRC（高齢者コミュニティ）などの整備を施すべき（民間ベースで）。 深沢の立地を最大限活用し、収益があげられる様に民間を活用すべき。
--	---